

2020 年度 研究助成申請書

2020 年 月 日

一般社団法人日本内部監査協会
会 長 殿

フリガナ
申請者氏名 _____ (印)

貴協会の研究助成金の給付を受けたいので、下記のとおり申請いたします。

記

1. 調査研究の課題	
2. 研究者	
氏名	生年月日（西暦） 年 月 日生（ 歳）
自宅住所（〒 ）	
電話	FAX 電子メールアドレス
所属大学・大学院	
所属学部・研究科及び役職名	
所属大学・大学院所在地（〒 ）	
電話	FAX
略歴（西暦で記入、最終学歴以降現在まで）	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

3. 調査研究の概要

調査研究の目的・意義・理由を、具体的に記入すること。

その際に、次の点についても漏れなく記述すること。

①研究課題の妥当性、②研究課題の独自性・斬新性、③目標成果の内部監査への役立ち

*本調査研究に対する他機関からの助成及び他機関への申請があるときは、機関・助成金の正式名称、申請・受給の別、年度及び金額を付記すること。

4. 調査研究の方法

調査研究の具体的方法について記入すること。

*その際に、研究計画の実行可能性及び研究方法の妥当性について、必ず記述すること。

*調査研究に要する期間についても記入すること。

(調査研究期間：西暦 年 月～ 年 月までの 年 ヶ月間)

5. 助成希望額及び必要経費内訳

助成希望額： _____ 円（*50 万円以内）

*助成金は、交付対象研究に直接関係ある費用に限り使用できる。

必要経費内訳：

*必要経費の積算は、下表の①～⑥の項目ごとに概算を記入し、合計すること。その総額が 50 万円を超える場合には、その補填方法を記載すること。

①新聞雑誌費（書籍、新聞、雑誌等）	円
②旅費交通費（実費）	円
③通信・運搬費	円
④印刷製本費	円
⑤会費	円
⑥所属機関事務管理費	円
⑦総額	円

*⑦総額が 50 万円を超える場合の補填方法

研究予算の妥当性

***研究予算の妥当性について具体的に記述すること。**

6. 本調査研究に係る国内外の状況

7. 申請者の主たる著書、論文等

*著書の場合は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記入すること。

*論文の場合は、著者名、題名、掲載誌名、掲載年月日、巻、号、頁を記入すること。

(著者が多数の場合には主な著者を数名記載し以下省略可。申請者に下線を付すこと。)

8. その他特記事項

*過去、当協会の助成金に対する申請があれば、申請年度、課題、申請の結果、申請額及び受給額を付記すること。

以上

研究助成候補者推薦書

年 月 日

一般社団法人日本内部監査協会

会 長 殿

〒

所在地_____

大学名_____

所属長名_____職印

本調査研究は、貴協会の助成金を受けるに相応しいものと認め推薦いたします。

なお、受給が決定した場合には、所属機関として助成金の管理を行います。